

2018

JAHFA
JAPAN AUTOMOTIVE HALL OF FAME

論壇

Contribution to
JAHFA



Light you up お客様に寄り添った クルマづくり

ダイハツ工業株式会社
代表取締役社長

奥平 総一郎

はじめに

ダイハツ工業は昨年、創立110周年を迎え、グループスローガンを「Light you up ～らしく、ともに、軽やかに～」に刷新いたしました。お客様一人ひとりを照らし、きめ細やかな商品やサービスを実現することで、輝いたライフスタイルをご提供すること。暮らしや環境への負担が少ないスモールカーで軽やかな気持ちをご提供すること。この「Light you up」の考え方を指針に、中長期経営シナリオ「D-challenge2025」のもと、「モノづくり」と「コトづくり」の両輪で、ダイハツブランドの進化を目指しております。

ダイハツのモノづくり

「モノづくり」においては、DNGA(ダイハツ ニューグローバル アーキテクチャー)の実現を目指します。これはダイハツらしい「良品廉価」なクルマづくりのコンセプトであり、軽を基点に小型車まで、すなわち「小から大」のクルマづくりです。①選択と集中によるさらなる良品廉価の追求、②先進技術の採用、③ポストSSC(シンプル・スリム・コンパクト)の確立、の3つをテーマに、DNGAの実現をやり切り、東京オリンピックまでに、第一弾となる軽自動車を投入する予定です。足元では、今年6月に新型軽乗用車「ミラ トコッ

ト」を発売いたしました。このクルマは、若年女性エントリーユーザーをはじめ幅広い方々に、日々のモビリティライフをより安心して過ごしていただきたいとの想いを込めて開発した新型車です。軽自動車に相応しいお求めやすい価格を実現するとともに、シンプルで愛着のわくデザインにこだわり、クルマを初めて購入する、運転に不慣れなエントリーユーザーにも気軽に安心してお乗りいただけるよう、工夫を凝らした一台です。

また、昨年から今年にかけ、軽商用車「ハイゼットカーゴ」、「ハイゼットトラック」に、衝突回避支援システム「スマートアシスト」を採用いたしました。仕事から日常生活まで、幅広い使い方をする軽商用車に、初めて歩行者にも対応する衝突回避支援ブレーキ機能を搭載した「スマートアシスト」を採用し、より多くのお客様に安全・安心をご提供いたします。

これらのように、ダイハツは今後も、「Light you up」の考え方にに基づき、軽自動車の本質である「低燃費、低価格、安全・安心」を追求するとともに、社会環境やお客様の好みの変化にあわせ、多様なニーズにお応えできるユーザーオリエンテッドなスモールカーづくりを推進してまいります。



Light you up を指針にダイハツブランドの進化を目指す



ユーザーオリエントで良品廉価なクルマづくりを目指す
(写真はミラ トコット)

ダイハツの先進技術

一方、DNGAの開発には、昨今注目が高まっている電動化や自動運転などの先進技術も当然含まれております。キーワードは「先進技術をみんなのものに」です。ダイハツが軽で初めて実現した衝突回避支援システム「スマートアシスト」のように、お客様の暮らしに役立つ先進技術をお求めやすい価格でご提供すること。そして、安全、環境、つながりあう社会、様々な分野で普及させることが私たちの使命です。

特に安全分野では、今後もスマートアシストを進化させ、すべてのお客様が自由に安心して移動できるアシスト機能を目指します。例えば将来的には、ご高齢でご自身での運転が困難なお客様が一人で移動できるクルマを提供し、お客様のモビリティライフを豊かにするお手伝いをしたいと考えております。

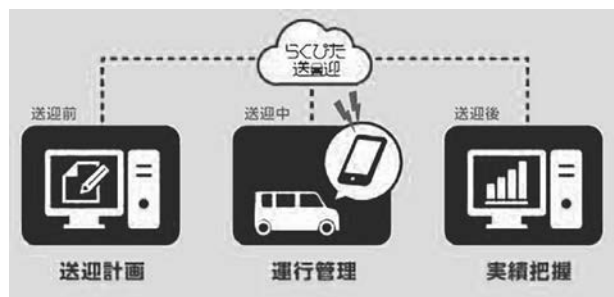
環境分野では、パワートレインの電動化は今後必要不可欠な技術であり、ダイハツもEV、HVの開発に取り組んでおります。バッテリーの価格や大きさなど、小さなクルマでの電動化のハードルはまだ高いですが、ダイハツの得意とするパッケージ技術を生かし、まずはお求めやすく、コンパクトで、さらに扱いやすいHVを導入し、EVの開発なども視野に入れて、進めてまいります。

ダイハツのコトづくり

「コトづくり」では、「お客様や地域の方々との接点



衝突回避支援システム「スマートアシストIII」を採用(写真はハイゼットトラック)



簡易テレマティクスを用いた通所介護事業施設向けの送迎支援システム(写真はらくびた送迎システムイメージ)

拡大」を主眼とした活動を推進しております。その一環として、2016年から「高齢者の事故低減に向けた産官学民の取り組み」を開始しました。これは、高齢化が進む地域社会で、「産＝ダイハツ/JAF、官＝地方自治体、学＝理学療法士協会、民＝地域社会」の連携により、「いくつになっても自由に移動できる自立した生活」を地域と連携してサポートする活動です。

また昨年には、通所介護事業施設(デイサービスなど)向けの送迎支援システムとなる「らくびた送迎」を開発いたしました。このシステムは、介護施設職員の計画作成/運行管理への悩みを解消し、「短時間」で“家の前まで送迎車が来てくれる”など「施設利用者にとって嬉しいスモールカーを活用した送迎の普及」に向けた、スマートフォンを活用した簡易テレマティクスです。実際にご使用いただいた方からも歓迎の声をいただいております、ダイハツは今後もこれらの取り組みを通じて、お客様や地域との接点を拡大してまいります。

最後に

今後も「Light you up」の考えのもと、「モノづくり」と「コトづくり」の両輪でダイハツブランドを進化させ、お客様に寄り添ったクルマづくりを続けていくことで、「お客様に最も近いブランド」に成長させてまいります。